

履修学年	教 科	授業形態	週時間数
中学1年	英語(英会話を含む)	分割	前期6時間 後期7時間

教科書 書名(出版社) NEW CROWN 1 (三省堂)	副読本 Keyワーク 英語1年、2年 (教育開発出版) 英語の語順ドリル① (正進社) Mileage Reader 1 (いいずな書店) キクジユク (アルク) リスニング問題集
目標・ねらい 1 英語の学習を通じて、様々な問題について興味・関心を深め、自らの考え、意見を持つ。 2 自己表現のためのツール(文法、語彙、論理展開)を身に付ける。 3 自己表現の経験を積むことによって、自己表現力を身に付ける。	
注意事項(学習方法・長期休業の課題など) 1 学習方法 (1)授業 ア ペアによる話す活動 イ リスニングやオーラルイントロダクションによる内容把握 ウ 速読による内容把握 エ 新出語彙の発音と意味の確認 → Vocabulary Quiz オ 本文の内容理解と音読 カ 新出文法のルールを理解とそれを使った自己表現 キ レッソンのトピック、新出文法を使った書く活動 ク まとめテスト、パフォーマンステスト、ミニテスト (2)復習 ア 音読 イ 家庭学習プリント ウ Keyワーク・語順ドリル エ 単語リスト オ 授業ノート、テスト直しノート 2 長期休暇中の課題 (1)与えられたトピックについてまとめた英文を書く (2)サマーワーク、ウィンターワーク等 (3)キクジユクの例文暗記	

評価について

観点	割合	授業時における項目
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	10	活動への意欲・提出物・単語テストなど
外国語表現の能力	40	英会話・パフォーマンステスト・Final Task(プレゼンテーション・スピーチなど)
外国語理解の能力	30	まとめテスト・Final Task(インタビュー・リーディングなど)
言語や文化についての知識・理解	20	まとめテストなど

年間授業計画表

	単元	目標
前期	UNIT 1: This is Me! Lesson 1 I Am Tanaka Kumi (1) I am... (2) You are... / Are you...? Lesson 2 My School (1) This is... / Is that...? / This is not... (2) What is this? / It is... (3) She is... / He is... Lesson 3 I Like Soccer (1) I play... / Do you play...? / I don't play... (2) What do you have~?	(1) am / areを理解し、使うことができる。 (2) 自己紹介をしたり、自分の気持ちや状態を伝えることができる。 (1) this / that / he / she / it / what を理解し、使うことができる。 (2) be動詞を正しく使うことができる。 (3) 人や身近なものについて説明することができる (1) have / like / play といった一般動詞を理解し、使うことができる。 (2) 一般動詞の否定文と疑問文の作り方を理解し、状況に応じて使うことができる。 (3) 自分の好きなものやことについて説明することができる。 C, D
	UNIT 2: Interview Lesson 4 Field Trip (1) 複数の表現 (2) How many...? (3) Play... / Don't... / Let's... Lesson 5 Our New Friend (1) Who is...? (2) him / her (3) Where do you...? / When do you...?	(1) 複数形や数の尋ね方を理解し、使うことができる。 (2) 命令文を理解し、使うことができる。 (3) 複数のものについて説明することができる。 (4) 環境問題に関心を持つ。 (1) who / where / when / whose などの疑問詞を理解し、使うことができる。 (2) him / herなどの目的格の用法を理解し使うことができる。 (3) クラスマートに関心を持ち、簡単な質問をしあうことができる。 A, C
後期	UNIT 3: My Family Lesson 6 My Family (1) Miki plays... (2) Does Miki play...? / Miki doesn't play... (3) What / Where / When does Miki...?	(1) 3人称単数現在形を理解し、使うことができる。 (2) 自分や相手以外の人の状態や動作について質問したり、質問してわかったことを伝えたりすることができる。 (3) イギリスの文化について知る。 C
	UNIT 4: Sports for Everyone Lesson 7 Sports for Everyone (1) Koji can play... (2) Can Koji play...? / Koji cannot play...	(1) 助動詞canを理解し、使うことができる。 (2) 自分や友達のできることについて表現できる。 (3) いろいろなスポーツについて知る。 A, C, D
	UNIT 5: School Life Lesson 8 School Life in the USA (1) Tom is studying... (2) Is Tom studying...? / Tom is not studying...	(1) 現在進行形を理解し、使うことができる。 (2) 外国の中学校生活を知り、自分の学校を海外に紹介する英文を書く。 B, D
	UNIT 6: Four Seasons Lesson 9 Four Seasons (1) Amy played... / Amy went... (2) Did Amy play...? / Amy did not play...	(1) 一般動詞の過去形を理解し、使うことができる。 (2) 過去形を使い、日記や報告文を書くことができる。 (3) 日本の身近な年中行事について関心を高める。 B, C, D
	UNIT 7: Reading a Story Let's Read Alice and Humpty Dumpty Further Reading 1 & 2	(1) 物語文を読む。 (2) さまざまな不規則動詞の変化を覚え、使うことができる。 B, D

履修学年	教 科	授業形態	週時間数
中学1年	国 語	一斉	4. 4時間

教科書 現代の国語1年(三省堂) 中学書写1(教育出版)	副読本 よくわかる中学国文法(吉野教育図書) 漢検 分野別問題集 (日本漢字能力検定協会) 論理エンジンOS1・OS2(水王舎)
目標・ねらい ・言語を、「考える」「創造する」「振り返る」「学習する」「自己表現する」「分析する」「社会とやりとりする」ための手段として利用できるようにする。 ・さまざまな場面で、「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」「見ること」「発表すること」に関わるスキルを身につける。 ・文学および文学以外のテキストを、批判的、かつ創造的、かつ独創的に学習し分析することを探究する。 ・いろいろな時代とさまざまな文化のテキストに取り組む。 ・文学および文学以外のテキストを通して、自分の国や学校所在地の文化、その他の文化を探究し、分析する。 ・多様なメディアや伝達手段を通して言語を探究する。 ・生涯にわたる読書への関心を育む。 ・さまざまな場面において、言語的で文学的な概念とスキルを応用できるようにする。	
注意事項(学習方法・長期休業の課題など) 学習方法 予習 提示されたテキストを読み、分からない語句などは意味を辞書で調べておく。事前に課題を出された場合は、確実にその課題をこなしておく。 授業 個人作業→協働作業→個人作業の繰り返しの中で、仲間と一緒に考えながら自己の考えを深め、一つの事柄を探究していくことの楽しさ・喜びを実感できるようにする。 復習 自分の提出・提示した課題と評価規準を見比べ、課題への取り組み方として足りなかった部分、今後必要になってくるであろう部分を認識する。評価に納得のいかない部分があった場合は、必要に応じて教員と面談等を行い、納得した上で次の課題に取り組む。 長期休業の課題 毎年、春・夏・冬休みに作文もしくは読書感想文を一篇ずつ課題とする。 俳句や短歌作り、その他創作、課題作文等、外部コンクールにも応募する。 小テスト 漢字テスト・語彙テストなどを定期的 to 実施する。 書写 毛筆・硬筆併せて、年間10時間程度行う。 ※学年の状況に応じて単元が前後することがある。	

評価について

観点	割合	授業時における項目
国語への関心・意欲・態度	20	課題の提出状況・課題への取り組み態度
話す・聞く能力	20	口頭での発表・他者の発表の聞き方
書く能力	20	長期休暇中の課題作文・論文や作文など文書による課題
読む能力	20	テキストの分析・文章読解
言語についての知識・理解・技能	20	各課題における言語使用、国文法、漢字テスト、書写

年間授業計画表

	単元	目標
前期	1 オリエンテーション 2 影響を受けた作品から自分自身を知る(探究1) 3 論理的な読み・書きの探究(探究2) 4 物語の構造分析(探究3) 5 文章読解演習 6 漢字の学習 7 口語文法 8 論理エンジン 9 言語技術 10 書写	1 年間を通じての授業の方針と、ねらい・目標を理解する 2 影響を受けた作品から自分自身のアイデンティティーを再確認する探究学習を行う。また、クラス・学年の仲間と相互理解を深めるための自己紹介と他者理解もここで兼ねる。その過程において探究学習において必要な基本的な事柄も学ぶ 3 時空を超えたコミュニケーションを可能にする論理について探究する 4 物語の構造分析の仕方について学び、物語を分析するための基礎を、探究学習を通じて身につける 5 教科書などの説明文を用いて、探究学習で学んだことを、文章読解に活かす練習をする 6 漢字の成り立ちや部首、読み、意味などについて知り、正確に漢字を読み、書き、学ぶための基本的な知識を得る 7. 8 日本語を論理的に読み、書くための基本的な知識を体系的に学ぶ 9 物事を論理的に考え、読み、伝えるための基礎とスキルについて学ぶ 10 毛筆と硬筆を用いて、美しい文字を書く
後期	1 古典作品を学ぶ意義を探究する(探究4) 2 物語の語りの構造分析(探究5) 3 文章読解演習 4 漢字の学習 5 口語文法 6 論理エンジン 7 言語技術 8 書写	1 現代にも様々な面で影響を与える古文・漢文作品の鑑賞・分析を通して、現代において古典作品を学び、味わうことの意義を探究する 2 あらゆる叙述の語り手の存在、語り方のヴァリエーションが、受け手側の受容にどのような影響を与えるか探究する 3 教科書などの説明文を用いて、探究学習で学んだことを、文章読解に活かす練習をする 4 漢字の成り立ちや部首、読み、意味などについて知り、正確に漢字を読み、書き、学ぶための基本的な知識を得る 5. 6 日本語を論理的に読み、書くための基本的な知識を体系的に学ぶ 7 物事を論理的に読み、考え、伝えるための基礎とスキルについて学ぶ 8 毛筆と硬筆を用いて、美しい文字を書く

履修学年	教 科	授業形態	週時間数
中学1年	社会(地理・歴史)	一斉	3 時間

教科書 社会科 中学生の地理(帝国書院) 中学校社会科地図(帝国書院) 中学社会 歴史(教育出版)	副読本 最新地理資料集総合(明治図書) 学び考える歴史(浜島書店)
目標・ねらい ・人間と環境に見られる共通点や多様性を認識すること ・個人、社会、環境の相互作用や相互依存性を理解すること ・環境の体系と人間の体系がどのように作用し進化していくかを理解すること ・人間のコミュニティーと自然環境の健やかさについて、問題点を特定し啓発すること ・地域およびグローバルなコミュニティーの責任ある市民として行動すること ・探究のスキルを養い、個人と社会とそれらが生きる環境との間の関係性を概念的に理解すること	
注意事項(学習方法・長期休業の課題など) 1 日常の学習 (1)ユニットごとに地理的分野と歴史的分野の学びをおこなう。 (2)上記の学びごとにファイリング及びノートを準備しポートフォリオとしてまとめる。 (3)ユニットによってグループワークを取り入れる。 (4)ユニット内容に合わせて問題集を解き知識定着をはかる。 (5)学習習慣定着のため、課題提出は必ずおこなうこと。 2 長期休業の学習 (1)まとまった時間を使って調べ学習を行う。 (2)上記内容を学園祭にて展示する。	

観点	割合	授業時における項目
社会的事象への関心・意欲・態度【B】	25	調査探究 リポート
社会的な思考・判断・表現【C】	25	プレゼンテーション リポート
資料活用の技能【D】	25	プレゼンテーション ポスターセッション リポート
社会的事象についての知識・理解【A】	25	単元テスト

年間授業計画表

	単元	目標
前期	ユニット1 【地理的分野】 世界の姿と人々の生活と環境 1. 世界のさまざまな地域 (1)世界の地域構成 (2)世界各地の人々の生活と環境 ★国調べ(6月上旬)	・地球を大観し地球的規模で位置関係を捉える技能や知識を身につけたうえで、地図を用いて主な国々の名称と位置を把握し、地名への関心を高める。 ・世界の多様な地域とそこに住む人々の生活を学習対象とし、諸地域の地域的特色を理解することで地理的認識を養う。 【B】【D】
	ユニット2 【歴史的分野】 原始・古代までの日本と世界 1. 世界の古代文明のおこり 2. 日本列島における国家形成 3. 律令国家の形成 4. 貴族政治と国風文化の成立 ★単元テスト(7月中旬) ★夏季休暇課題 「身近な歴史～列島探検～」	・古代までの日本と東アジアの歴史的事象について、相互に関連づけるとともに、時代の特色を多面的多角的に考察し、表現する。 ※現代の私たちの生活と歴史と古代文明との関わりについて調査、考察する。 【A】 【B】【C】
	ユニット3 【歴史的分野】 中世の日本と世界 5. 世界の動きと武家政治の始まり 6. ゆれ動く武家政治と社会 7. 民衆の成長と新たな文化の形成	・武士の政治への進出と展開、東アジアにおける動き、農業や商工業の発達に着目して、当時の社会の変化や文化について考察し、表現する。
後期	★単元テスト(10月下旬)	【A】
	ユニット4 【地理的分野】 2. 世界の諸地域① (1)アジア・アフリカ・ヨーロッパ ★プレゼンテーション(12月)	・世界の諸地域について、主にアジア、アフリカの各州に暮らす人々の様子を的確に把握できる地理的事象を取り上げそれぞれの州の地域的特色を理解する。 ・ヨーロッパ州の「EU」を取り上げ、地域連合がもたらすものという視点から収集した資料から適切な情報を読み取るとともに適切に整理し、さらに表現する力を養う。 【C】【D】
	ユニット5 【地理的分野】 2. 世界の諸地域② (2)北米・南米・オセアニア ★ポスターセッション(3月)	・世界の諸地域について、新大陸と呼ばれる北米、南米、オセアニアの類似点と相違点を比較するとともにその要因について考察する。 ・世界の諸地域の学びの中で地域又は国の地域的特色を捉える適切な主題を設け、地理的認識を深めるとともに調査をおこなう。 【B】【D】

履修学年	教科	授業形態	週時間数
中学1年	数学	一斉	4時間

教科書 中学校 数学1 （数研出版）	副読本 数学の問題ノート 1 （新学社）
目標・ねらい ・負の数の概念や代数学の意義を理解し、正負の数の四則計算や文字式の基礎を培う。 ・比例や反比例から、数量の関係を表現し考察する。 ・平面図形や空間図形について学び、論理的に考察する。	
注意事項(学習方法・長期休業の課題など) ○ユニットテストについて （1）授業内容を中心に出题する。 （2）ユニットテスト当日に、問題集を提出すること。 ○その他のテストについて （1）再テスト ： ユニットテストの再テスト及び補習 （2）MN テスト ： 日々の授業内容を確認する小テスト （3）DN テスト ： 学習済みの内容を自宅で振り返る宿題 （4）TDN テスト ： 学力テスト前に再確認するためのDN総まとめテスト ○日々の学習について （1）予習として、教科書の例題を読むと良い。ファイルを用いてプリント類を整理する。 （2）復習として、問題集を解いて答え合わせと間違い直しをする。 （3）入学前と長期休暇の宿題はワークやプリントが配布される。 （4）各教室に置いてある「数学検定の完全対策問題集(日本実業出版)」を自由に活用する。 （5）希望者に問題集「STEP演習(数研出版)」を販売する。各自のペースで取り組むこと。	

評価について

観点	割合	授業時における項目
数学への関心・意欲・態度	20	提出物・DNテスト
数学的な見方や考え方	20	レポート
数学的な表現・処理	30	ユニットテスト
数量・図形などについての知識・理解	30	MNテスト・TDNテスト・学力テスト

年間授業計画表

	単元	目標 【MYP評価規準】
前期	ユニット1 第1章 正の数と負の数 正の数と負の数 加法と減法 乗法と除法 いろいろな計算 ユニットテスト	・小学校で習った分数や小数の四則計算ができる。 ・負の数の意味を理解する。 ・いろいろな数量を、正負の数を用いて表す。 ・正負の数の四則計算に習熟する。 【A・C】
	ユニット2 第2章 文字と式 文字と式 文字式の計算 ユニットテスト 第3章 1次方程式 1次方程式 1次方程式の利用 不等式の性質 ユニットテスト レポート	・いろいろな数量を文字式で表す。 ・1次式の加減乗除に習熟する。 ・数量の等しい関係を等式で表す。 ・1元1次方程式を解く。 ・具体的な問題を、1元1次方程式を用いて解決する。 ・連立不等式を解く。 【B・D】
	ユニット3 第4章 比例と反比例 比例・反比例 比例と反比例の利用 ユニットテスト レポート	・数量の関係を表す式を理解する。 ・身近な事象を比例・反比例で考察し、式や表またはグラフに表す。 【A・D】
後期	ユニット4 第5章 平面図形 平面図形 作図 円とおうぎ形 三角形の外心・内心 第6章 空間図形 立体の切断 立体の表面積と体積 ユニットテスト レポート	・線対称点対称な図形や基本的な作図を学ぶ。 ・用語、記号などを理解する。 ・扇形の弧の長さや面積を求める。 ・外接円と内接円を作図する。 ・柱体・錐体・球の表面積や体積を求める。 【A・B】
	ユニット5 第7章 資料の整理とその活用 資料の整理とその活用 レポート	・資料の特徴を調べるために表やグラフに整理し、その傾向を読み取る。 ・身のまわりの問題について、資料を整理しその特徴について思考・表現する。 【C・D】

履修学年	教 科	授業形態	週時間数
中学1年	理科(1分野)	一斉	2時間

教科書 未来へひろがるサイエンス 1（啓林館）	副読本 中学の理科第1分野・第2分野 （教育開発出版） 中学 詳説 用語＆資料集 理科（受験研究社）
ねらい ・科学的知識（事実、アイデア、概念、過程、法則、原理、モデル、理論）を深め、それを問題解決に応用し、科学的に裏付けされた判断を表現する。 ・定性的データ、定量的データ両方またはいずれか一方を収集、処理、解釈し、そして適切に導かれた結論を説明する。 ・科学を通して分析的思考スキルを発達させ、そのスキルで科学的方法を評価し、方法に対する改善や発展を検討（論評）する。 ・科学的調査の計画、分析、実行を通して思考スキル、技術的スキルを身に付ける。 ・科学的発展の影響、そして特定の問題への応用を評価することによって、科学に対しての国際的な理解を得る。 ・科学の場面においてコミュニケーションをする際に、他者の研究を記述することの重要性について理解を深める。	
注意事項（学習方法・長期休業の課題など） 1学習方法 （1）授業での学習と実験観察に意欲的に取り組む。 （2）復習を重視し、小单元ごとに問題演習を行う。 （3）実験の授業では、安全面を重視し、基本的な操作方法を身につける。 2家庭学習 （1）学校からの課題を行う。 （2）夏休みには、課題と理科に関する自由研究を行う。 3授業 実験室の状況で、単元の順番を変更することがある。	

評価について

観点	割合	授業時における項目
自然事象への関心・意欲・態度	20	授業態度、提出物
科学的な思考・表現	20	テスト、提出物
観察・実験の技能	20	ノート、実験観察や実習などの提出物
自然事象についての知識・理解	40	テスト、提出物

年間授業計画表

	単元	目標
前期	物質 身のまわりの物質 1章 いろいろな物質とその性質 2章 いろいろな気体とその性質 MYP 謎の物質Xの正体	・物質の性質を利用して、物質を区別する方法を理解し、実験器具の操作、記録の仕方などの技能を身につける。 ・気体の性質を利用して、気体を区別する方法を理解し、気体を発生させる方法や捕集法などの技能を身につける。 MYP 謎の物質Xの正体を探る実験方法を考え、実際に実験を行い、謎の物質Xの正体が何であることを明らかにする。
	3章 水溶液の性質 4章 物質のすがたとその変化 MYP 大きな結晶を作ってみよう	・水溶液の性質を利用して、物質を区別する方法を理解し、水溶液から溶質を取り出す実験を行い、その結果を溶解度と関連づけて考える。 ・物質の状態変化を利用して、物質を区別する方法を理解し、状態変化によって物質の体積は変化するが質量は変化しないことを見いだす。 MYP 何の結晶を作るかを決め、結晶作りの方法を考え、実際に実験を行い、結晶を作る。
	エネルギー 光・音・力による現象 1章 光による現象 2章 音による現象 3章 力による現象	・光の反射や屈折の実験を行い、物質の境界面で反射、屈折するときの規則性を見いだす。また、凸レンズのはたらきについての実験を行い、物体の位置と像の位置および像の大きさや向きを見いだす。光の性質を知り、光の進み方を作図ができる。 MYP: 光の屈折を利用した屈折式望遠鏡を作る。 ・音についての実験を行い、音はものが振動することによって生じ、音の大きさや高さは発音体の振動のしかたに関係することを理解する。 MYP: 身のまわりの材料を用いて楽器を作る。 ・物体に力をはたらかせる実験を行い、物体に力がはたらくとその物体が変形したり、動き始めたり、運動の様子が変わったりすることを見いだすとともに、力は大きさと向きによって表されることを理解する。また、圧力についての実験を行い、圧力は力の大きさと面積に関係があることを見いだす。

履修学年	教 科	授業形態	週時間数
中学1年	理科(2分野)	一斉	前期2時間 後期1時間

教科書 未来へひろがるサイエンス 1（啓林館）	副読本 中学の理科第2分野（教育開発出版） 中学 詳説用語＆資料集 理科（受験研究社）
ねらい ・科学的知識（事実、アイデア、概念、過程、法則、原理、モデル、理論）を深め、それを問題解決に応用し、科学的に裏付けされた判断を表現する。 ・定性的データ、定量的データ両方またはいずれか一方を収集、処理、解釈し、そして適切に導かれた結論を説明する。 ・科学を通して分析的思考スキルを発達させ、そのスキルで科学的方法を評価し、方法に対する改善や発展を検討（論評）する。 ・科学的調査の計画、分析、実行を通して思考スキル、技術的スキルを身に付ける。 ・科学的発展の影響、そして特定の問題への応用を評価することによって、科学に対しての国際的な理解を得る。 ・科学の場面においてコミュニケーションをする際に、他者の研究を記述することの重要性について理解を深める。	
注意事項（学習方法・長期休業の課題など） 1学習方法 （1）授業での学習と実験観察に意欲的に取り組む。 （2）復習を重視し、小単位ごとに問題演習を行う。 （3）実験の授業では、安全面を重視し、基本的な操作方法を身につける。 2家庭学習 （1）学校からの課題を行う。 （2）テストに向けた学習計画を立て実行する。 （3）夏休みには、課題等を行う。 3授業 実験室の状況で、単元の順番を変更することがある。 状況に応じて、シラバスの内容を変更して授業を実施することがある。	

観点	割合	授業時における項目
自然事象への関心・意欲・態度	20	授業態度、提出物
科学的な思考・表現	20	小テスト、提出物
観察・実験の技能	20	ノート、実験観察や実習などの提出物
自然事象についての知識・理解	40	小テスト

年間授業計画表

	単元	目標
前期	MYP「日本で主食としてお米を食べ続けることができるのか？」 生命 植物のくらしとなかま 1章 花のつくりとはたらき 2章 水や栄養分を運ぶしくみ 3章 栄養分をつくるしくみ 4章 植物のなかま分け	・収穫量を増やすことを考えてグループでの米作りの計画を行い、実行する。 ・花の観察を行い、花の基本的なつくりの特徴を見いだすとともに、それらを花のはたらきと関連づけて捉える。 ・いろいろな植物の根と茎の観察を行い、基本的なつくりの特徴を見いだすとともに、植物体内の物質の移動と関連づけて捉える。 ・葉の観察を行い、葉のつくりの特徴を見いだす。 ・光合成に関する実験を行い、結果と関連づけて捉える。
後期	地球 活きている地球 1章 大地がゆれる 2章 大地が火をふく 3章 大地は語る	・さまざまな火山の活動を調べ、マグマの性質が深く関係していることを考察するとともに、マグマからできる火成岩の特徴を、観察を通して理解する。 ・地震計の記録から地震のゆれの特徴を理解するとともに、震央・震源の分布をプレートの動きと関連づけて理解する。 ・地層を構成する岩石や化石を手がかりとして、地層が堆積した時代や当時の環境を推測する。 MYP 人間にとって、日本は住みやすい環境か。

履修学年	教 科	授業形態	週時間数
中学1年	音楽(アート)	一斉	1.3時間

教科書 書名(出版社) 中学生の音楽 1年 (教育芸術社) 中学生の器楽 (教育芸術社)		副教材 アルトリコーダー
目標・ねらい ・音を使って、自分を表現する喜びを味わい、豊かな人間性を養う。 ・演奏や鑑賞を通して、他と協力して一つのもので作り上げる喜びを体験する。 ・演奏を聴きあい、互いの理解を深める。		
注意事項(学習方法・長期休業の課題など) ・授業の進度により課題の出る場合がある。 ・各種コンクール等への自主参加は自由。 ・アルトリコーダーは一斉購入予定。(既に所持している場合は不要)		

評価について

観点	割合	授業時における項目
音楽への関心・意欲・態度	30	課題への取り組み・まとめテスト・平常点
音楽表現の創意工夫	20	実技テスト・平常点
音楽表現の技能	40	実技テスト・平常点
鑑賞の能力	10	鑑賞・提出物

年間授業計画表

	単元	目標
前期	歌唱(校歌・聖歌・若い力・他) 楽典(音符・休符・記号) アルトリコーダー 実技テスト(歌唱)	・身近な曲を通して歌唱の基礎を学び、元気よく歌う。 ・歌うという自己表現を行うにあたり必要な、音楽の基礎的な知識を身に付ける。 ・校歌の歌詞を自分なりに解釈し、理解を深め表現につなげる。 ・音符や記号等を理解し演奏に生かす。 ・基本的な運指や、表現に見合った奏法を身に付ける。 ・他と協力して演奏する。
	鑑賞①(春) 情景と音楽の関わり アルトリコーダー 歌唱 実技テスト(アルトリコーダー) まとめテスト	・曲の構成をとらえ、曲想の変化を感じ取る。 ・音楽を多角的に鑑賞し、自分の言葉で表現する。 ・表現に見合った奏法を自ら感じ取り演奏する。 ・斉唱では味わえないハーモニーの美しさを味わう。 ・互いに聴きあいながら演奏する。
後期	歌唱(合唱) 鑑賞(魔王) 物語を歌で表現する芸術 アルトリコーダー	・詩や曲の雰囲気合った声で、言葉を大切に歌う。 ・フレーズの特徴を生かした表現を工夫する。 ・曲のまとまりやハーモニーの変化を感じ取って合唱する。 ・詩の内容と曲想の変化との関わりを感じ取る。 ・臨時記号に留意して演奏する。 ・音高に応じた美しい音色を奏でるための奏法を身に付ける。
	楽典(拍子・リズム) 箏曲 実技テスト(歌唱・アルトリコーダー) まとめテスト	・拍子を正確に捉え、音符や休符を正しく使用する。 ・箏を実際に演奏することで、日本の伝統音楽への興味を深める。 ・表現する楽しさを感じ、他者の表現を受け入れる。

履修学年	教 科	授業形態	週時間数
中学1年	美術（アート）	一斉	1.3時間

教科書 美術1（光村図書）	副読本 なし
目標・ねらい ・楽しく美術の活動に取り組むなかで、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を育む。 ・対象を見つめ感じ取る力や想像力を高め、豊かに発想し構想する能力や色彩、形による表現の技能を身につけ、意図に応じて創意工夫し美しく表現する力を養う。 ・自然の造形や芸術作品などについての基礎的な理解や見方を広げ、芸術文化に対する関心を高め、良さや美しさを味わう鑑賞の能力を育てる。	
注意事項（学習方法・長期休業の課題など） ・作業時には、制服が汚れないよう十分注意し、タブリエや、エプロン、スモックなどを着用する。 ・筆記用具、教科書、絵の具バックを持参する。 ・各種コンクールへの参加は自由。 ・授業進度によって、課題の変更がある。	
長期休業課題 作品調べレポート、美術館レポート、作品制作、資料・材料集めなどのなかから、学習内容に合わせて休み前の授業内にて指示。	

評価について		
観点	割合	授業時における項目
美術への関心・意欲・態度	20	平常点・提出物
発想や構想の能力	30	提出物
創造的な技能	30	提出物
鑑賞の能力	20	平常点・提出物

年間授業計画表

	単元	目 標
前期	「自分を知ろう」 絵文字を作ろう！～自分の名前～ 1 色彩・レタリングについて学習 2 「色彩について」「レタリングについて」ポスター発表（グループ） 3 名前の由来調べ/作品計画表/アイデアスケッチ作成（制作の狙い） 4 「絵文字を作ろう！～自分の名前の一文字～」作品制作 5 鑑賞会/鑑賞シート作成 6 振り返りシート作成/記録（ポートフォリオ作成） ◆応用 色彩・レタリングの学習を経て、ポスターや看板について考える。	同じ文化・価値観を持つ集団としてのアイデンティティーを共有し、解釈・表現したうえで、自らの表現法を探ることにより、他者との境界を見出す。 ・色彩や形が持つ共感覚などの学習を経て、意図や想いが、より他者に届きやすい表現（作品・記述・発表）の在り方を模索する。 ・自分自身のルーツを探り、自身の世界の基盤を形づくる。また、他者の世界を知り、楽しむ。 ・他者とのコミュニケーションを図り、スキルや考え方を深め、応用を試みる。 ・構想を具現化するために、計画性を持って作業を進める。
後期	「美しいということ」 鑑賞：手の美術史 塑像：形をとらえる 1 美術作品の手の表現に注目した鑑賞 2 鑑賞作品についてディスカッション・記述 3 アイデアスケッチ・アイデアシート作成 4 デッサンまたはクロッキー制作 5 塑像作品制作 6 鑑賞会 7 振り返りシート作成・記録	多種多様な文化表現に触れ、美しさを見出すとともに、個人の解釈を描写や表現に生かす。 ・様々な時代の美術作品から作者の創造的工夫や心情を感じ取り、自分の見方や考えを深める。 ・作品のよさや美しさについて自分の考えを持ち、それらを他者と共有する。 ・対象を深く見つめる観察力と描写力を高めるとともに、画材の特性を学び、主題に沿った表現法を考える。 ・現代における美のあり方や、自分にとっての美の価値観に意識を向け、芸術文化への理解を深める。

履修学年	教 科	授業形態	週時間数
中学1年	保健体育	一斉	3時間

教科書 新中学保健体育 （学研）	副読本 中学体育実技 2020 （横浜市版 学研）
目標・ねらい（IBの目標） ・保健体育の概念を探るために探求心を駆使する ・多様な状況に効果的に関わる →場面や状況の変化にどう対応すべきか？ ・運動の価値を理解する →何のために運動するのか？ ・健康的なライフスタイルを達成し、維持する →健康的なライフスタイルとはどのようなものか？ ・効果的に連携し、コミュニケーションを図る →どのようなコミュニケーションをとるか？ ・肯定的な人間関係を築き、社会的な責任感を実際に示す →前向きに仲間と関わるために自分の果たす役割は何か？ ・自身の学習経験を振り返る →自分のできること、苦手なことは何か？どうすればできるようになるか？	
注意事項(学習方法・長期休業の課題など) ○体操服をきちんと着用すること。 ○怪我の防止のため、準備運動を徹底すること。 ○ユニットごとにペーパーテストを行う ○ワークシートを期限に提出すること 見学の取り扱い ・自分の体調を考えながら可能な範囲で参加をし、できるだけ見学はしないこと。 ・見学届は事前に提出すること。	

評価について

観点	IBにおける評価観点	割合	授業時における項目
運動や健康・安全への関心・意欲・態度	パフォーマンスに向けた活動の計画	25	授業内での取り組み、ワークシート
運動や健康・安全についての思考・判断	パフォーマンスの振り返りと改善	25	授業内での状況判断、ワークシート
運動の技能	応用と実践	25	実技テスト
運動や健康・安全についての知識・理解	知識と理解	25	ペーパーテスト

年間授業計画表

	単元	目標
前期	体育祭関係 ラジオ体操第2 行進 競技の説明・練習	・集団の中での役割を自覚し、行動できるようになる。
	【ユニット1】 バレーボール	・状況に応じたプレーを選択するために、以下の技術を習得する。 ・オーバーパス ・アンダーパス ・サーブ
	水泳	・プール、海、川での事故とその防止法について理解する。
	体づくり運動	・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体力を高め、目的に適した運動を身に付け、組み合わせることができるようにする。
後期	保健	・中学生のからだの発達と健康を理解する。
	【ユニット2】 短距離・リレー	・スタートの方法を理解する。 ・正しい姿勢、美しいフォームで走る。 ・リレーのタイムを上げるためにテークオーバーゾーンの使いかたに着目した探究をおこなう。
	【ユニット3】 ダンス	・リズムに合わせて楽しく体を動かすことができる。 ・曲にあったテーマを決めて動きを創作する。（探究）
	【ユニット4】 バスケットボール	・基本的なパスやドリブル、シュートを習得し、簡単なゲームが展開できる。 ・ボールの保持と空き(スペース・人)を作るための工夫や変化を探究する。
	【ユニット5】 空手	・基本の型を習得する。 ・グループで型の見せ方を探究する。
	【ユニット6】 マット運動	・前転、後転、開脚前転、開脚後転、頭倒立、倒立、倒立ブリッジ(発展:側転、倒立前転) ・目標とする技のポイントを理解し、習得するまでの段階を踏んだ練習方法を探究する。
	保健	・中学生の心の発達と健康を理解する。

履修学年	教 科	授業形態	週時間数
中学1年	技術・家庭(技術分野)		1時間

教科書 書名(出版社) 技術・家庭 技術分野(開隆堂)	副読本 新「技術」活用テキスト (パソコン検定協会)
目標・ねらい コンピュータや情報通信ネットワークなどの学習を通して、情報を適切に判断・処理するための基礎的な知識・技能を習得するとともに、好奇心・探求心を育み、21世紀高度情報化社会に適応できる能力を培う。	
注意事項(学習方法・長期休業の課題など) 1. プリント・課題などは必ず提出すること。製作物が未完成の場合は、採点の対象にならないので注意すること。 2. 課題製作は校内を主とし、欠席や作業の都合で授業時間内に完成ができなかった場合は放課後の補修に参加し、完成させること。 3. 長期休業中にはレポートなどの課題がある。	

評価について

観点	割合	授業時における項目
生活や技術への関心・意欲・態度	20	授業・課題への取り組み状況・ふりかえり
生活を工夫し創意する能力	30	製作物・プリントや課題の内容
生活の技能	20	製作物・プリントや課題の内容・自己評価
生活や技術についての知識・理解	20	製作物作成案・ふりかえりレポート、小テスト、ユニットテスト

年間授業計画表

	単元	目 標
前期	4. 情報通信ネットワークの利用 5. コンピュータと情報処理 [Unit1] 1.情報とわたしたちの生活 2.情報通信ネットワークとセキュリティ 3. 情報モラルと知的財産 [ユニット1 最終課題ポスター]	生活や社会で利用されている技術について基礎的な理解を図るとともに、技術と生活や社会、環境との関りについて理解を深める。 生活や社会の中から技術に関わる問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、課題を解決する力を養う。 MYP評価基準[ABCD] 重要概念[コミュニケーション]
	Unit2 6. 作品の設計と製作 [Unit2 課題:レイアウト作成]	よりより生活の実現に向けて工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。 MYP [ABCD] 重要概念[発展]
後期		

履修学年	教 科	授業形態	週時間数
中学1年	技術・家庭(家庭分野)	一斉	後期2時間

教科書 技術・家庭 家庭分野（開隆堂）	副読本 なし
目標・ねらい 生活に必要な基礎的・基本的な知識と技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し、創造する能力と実践的な態度を身につける。	
注意事項(学習方法・長期休業の課題など) 1 プリント、課題などは必ず提出すること。また、製作物が未完成の場合は、採点の対象にならないので注意すること。 2 製作途中の課題を家庭に持ち帰ることは、原則として認めていない。欠席や作業の都合で、授業時間中に完成できなかった場合は、放課後の補習に参加し、完成させること。 3 長期休業中には、家庭での実践を含めたレポート等の課題がある。	

評価について

観点	割合	授業時における項目
生活や技術への関心・意欲・態度	25	課題への取り組み状況
生活を工夫し創意する能力	25	製作の計画、ワークシート
生活の技能	25	製作の計画、製作物、実技テスト
生活や技術についての知識・理解	25	確認テスト

年間授業計画表

	単元	目標
前期		
後期	衣生活と自立	衣服と社会生活とのかかわりを理解し、目的に応じた着用や個性を生かす着用を工夫できる。 既制服を選ぶために必要なサイズや取扱い絵表示の見方を理解し、衣服の適切な選択ができる。
	生活を豊かにする物をつくる	布を用いた物づくりの実践を通じ、生活で必要となる衣服の補修にかかわる技法を身につける。また、身につけた技術を活用しながら、生活を快適で豊かにする自分だけの作品を手作りする喜びと楽しさを味わう。

履修学年	教 科	授業形態	週時間数
中学1年	宗 教	一斉	1時間

教科書 聖書 新共同訳続編つき （日本聖書協会）	副読本 なし
目標・ねらい ・学園の建学の精神に触れ、キリスト教の基礎的な知識を身につける。 ・キリスト教の歴史を理解する。 ・聖書に触れ、神のメッセージを学ぶ。 ・生徒一人ひとりが神に愛されていることを実感させる。	
注意事項(学習方法・長期休業の課題など) ・聖書のみことばと、現代社会の諸問題を関連付けながら、学ぶように導く ・修養会などの宗教行事に関しての事前の準備と、事後の振り返りを行う。 ・修養会ノートの提出や、課題に対するレポートを定期的に課す。 ・夏休みには読書感想を書く。(宗教書などの指定は適宜行う)	

評価について

観点	割合	授業時における項目
宗教への興味・関心	20	提出物・修養会ノート
キリスト教についての知識・理解	60	期末試験
キリスト教的価値観を表現する力	20	課題・レポート(読書感想など)

年間授業計画表

	単元	目標
前期	・学園と創立修道会であるアトンメントのフランシスコ会について知る ・「祈り」について ・聖書の歴史と構成について学ぶ	・アトンメント会と勝野初代学園長神父による学園創立の背景を理解する。 ・神と対話である祈りについて理解する。 ・学校生活で唱える祈りを理解し、覚える。 ・聖書が一冊の書物ではなく、神の救いの歴史を記したものであることを理解する。
	・キリスト教の歴史(旧約から現代まで)を知る ・聖母月や復活祭などの教会の暦と行事を知る (1)聖週間 (2)復活祭 (3)母月 (4)聖霊降臨など 期末テスト	・アブラハムの召命から現代までの教会の歴史を理解する。 ・季節や月ごとの宗教的な行事や典礼を示し、理解する。
後期	・旧約聖書の物語を学ぶ (1)創世記における万物の創造 (2)アダムとイヴの物語 (3)アブラハムの召命 (4)イサクからヤコブまで	・神の愛と、人間の自由について考える。 ・アダムとイブ＝原罪＝自由＝愛。 ・ユダヤ・キリスト・イスラム教の祖とされるアブラハムについて、その背景や信仰心について理解する。
	・「出エジプト」 ・モーセの誕生 ・イスラエルの民の「出エジプト」 ・「十戒」 学年末テスト	・「救い歴史」を一つの流れの中で理解させる。 ・十戒を理解し、覚える。